

JICA 教師海外研修 学習指導案・授業実践報告書

【実践者】

氏名	竹内 淑香	学校名 杉並区立 杉並和泉学園	都・道・府・県 杉並区立 小中一貫教育 学校
担当教科等	3、4、5、6 学年	対象学年 (人数)	4 年生 (132 名)
実践年月日もしくは期間 (時数)	2019 年 7 月～ 2020 年 1 月 (8 時間)		

【実践概要】

1. 実践する教科・領域※教科、総合的な学習の時間など。：外国語活動・総合的な学習の時間							
2. 単元(活動)名※教科書等の記載を参考に記入ください。：「世界ともだちプロジェクト」 Unit4 What time is it? ・ Uint9 This is my day! 『Let's Try! 2』							
3. 授業テーマ (タイトル) と単元目標 授業テーマ※評価規準を意識して設定ください。：「This is my day!～Japan & Paraguay～」 単元目標※教科書等の記載を参考に記入ください。： ・パラグアイに住む子供たちの一日の生活を知り、国や人への理解を深める。 ・日系の子供たちの学ぶ姿から、言葉を学ぶことの大切さを考えることができる。 関連する学習指導要領上の目標※学習指導要領から引用ください。：(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。							
4. 単元の評価 規準	<table border="1"> <tr> <td>①知識及び技能</td> <td>・自分の生活や国について知り、それを元に資料を読み取る。</td> </tr> <tr> <td>②思考力、判断力、 表現力等</td> <td>・自分の生活や国と比較し、他国やそこに暮らす人々との相違点を見出し、自分の考えをまとめ、表現する。</td> </tr> <tr> <td>③学びに向かう力、 人間性等</td> <td>・他国やそこに暮らす人々の姿から学び、より良い生活や社会の創造に向けて自他を尊重する。</td> </tr> </table>	①知識及び技能	・自分の生活や国について知り、それを元に資料を読み取る。	②思考力、判断力、 表現力等	・自分の生活や国と比較し、他国やそこに暮らす人々との相違点を見出し、自分の考えをまとめ、表現する。	③学びに向かう力、 人間性等	・他国やそこに暮らす人々の姿から学び、より良い生活や社会の創造に向けて自他を尊重する。
①知識及び技能	・自分の生活や国について知り、それを元に資料を読み取る。						
②思考力、判断力、 表現力等	・自分の生活や国と比較し、他国やそこに暮らす人々との相違点を見出し、自分の考えをまとめ、表現する。						
③学びに向かう力、 人間性等	・他国やそこに暮らす人々の姿から学び、より良い生活や社会の創造に向けて自他を尊重する。						
5. 単元設定の 理由・単元の 意義 (児童/生徒 観、教材観、 指導観)	<p>【単元設定の理由】</p> <p>世界で起きている出来事を「自分事」として捉えさせるために、「世界ともだちプロジェクト」単元を設定した。児童一人一人と、パラグアイとを繋げるべく、お手紙交流を実施、児童はパラグアイの子供たちに向けて手紙を書いた。また、パラグアイからのスペイン語の返事を、内容を想像して読むことを行った。自分の生活について見つめさせるため、外国語活動の単元「What time is it?」・「This is my day!」を設定した。自分や、身近にいる友達的生活を知った上で、パラグアイの現地校や日本語学校(日系の学校)の子供たちの「一日の生活」を題材に比較をさせた。</p> <p>【単元の意義】</p> <p>「世界ともだちプロジェクト」単元でのお手紙交流を通し、日・パラ児童同士が繋がることで、「ともだち」の国やそこでの出来事に関心を持つ。また、スペイン語での手紙を想像して読むことを通し、第三言語への言葉への興味や、語学への意欲につなげる。外国語活動の単元において、「一日の生活」について英語で尋ね合う活動を通し、自分や友達的生活を見つめた上で、パラグアイの生活について比較させ、考えを深めた。</p> <p>【児童/生徒観】</p> <p>世界の国々について関心があり、英語学習への意欲も高い児童が多い。しかし、興味を持って、意欲が低い児童もいる。英語や英語圏の国には関心が高い傾向が感じられる。</p> <p>【指導観】</p> <p>貫いたのは「ともだち」になることである。「自分事」として捉えさせる基礎固めと言える。手紙を書く行動により、児童同士を繋げ、返事を読むことで相手の言語への関心を持たせ、さらに、パラグアイの子供たちの「一日の生活」アンケートを題材にした。</p>						

6. 単元計画 (全 8 時間)				
※全体の総時間数や「 本時 」の記入場所は適宜変更ください。ただし、4時間程度を目安に長くなり過ぎないように計画ください。				
時	小单元名	学習のねらい	学習活動	資料など ※:JICA リソース活用はここに記載
1	パラグアイについて学ぼう パラグアイの子どもたちと交流しよう	・パラグアイについての基礎知識を持ち、興味関心を持つ ・パラグアイの子どもたちへ日本の良さや、自分について発信する	○総合的な学習の時間 (○全校朝会) ・パラグアイの国の概要、言語、文化について学び、日系の存在について知る。 ・パラグアイの子どもたちへ手紙を書く。	
2	パラグアイからの手紙を読もう	・スペイン語に慣れ親しみ、興味関心を持つ	○総合的な学習の時間 ・スペイン語に慣れ親しむ。 ・スペイン語の手紙の内容を、想像して読む。	
3・4	Unit4 What time is it?	・時間の言い方に、慣れ親しむ	○外国語活動 ・一日の生活について、相手に尋ねたり、質問に答えたりする。	
5	パラグアイの子どもたちの一日を知ろう	・農業国パラグアイの学校事情について知る ・自分の生活と似ている点、異なる点を見つける	○総合的な学習の時間 ・自分の「一日の生活」と、パラグアイの子どもたちのそれを比較する。 ・意見を交流する。	
6	Unit9 What time do you get up?	・一日の行動の言い方に慣れ親しむ。	○外国語活動 一日の生活について、起きてから寝るまでの行動を、相手に説明する。	
7 本時	日系について学ぼう	・日系について基礎知識を持ち、興味関心を持つ ・パラグアイ日系と日本との関係を知る ・自分の生活と似ている点、異なる点を見つける	○総合的な学習の時間 ・自分の「一日の生活」と、パラグアイ日系の子どもたちのそれを比較する。 ・意見を交流する。	・JICA横浜海外移住奨励ポスター
8	日系の子どもたちと交流しよう	・日系の子どもたちに、日本の良さや自分について発信する。	○総合的な学習の時間 ・日系の子どもたちからの質問に答える。 ・日系の子どもたちへ手紙を書く。	

7. 本時の展開 (7時間目)			
本時のねらい：・パラグアイに住む日系の子どもたちの一日の生活を知り、国や人への理解を深める。 ・日系の子どもたちの学ぶ姿から、言葉を学ぶことの大切さを考えることができる。			
※1: 過程の 導入 ・ 展開 ・ まとめ は適宜変更下さい。			
※2: 「本時の展開」を複数時間分作成されても構いません。その場合、「7. 本時の展開」および「8. 評価基準に基づく本時の評価」を複製・追加して記入ください。			
過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動 ・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)

<p>導入 (20分)</p>	<p style="text-align: center;">1 日系社会について知る</p> <p>① 日系の子どもたちからの質問を聞く。 T: ある子供たちから、皆さんへ質問が届いています。どんな子供たちか、想像しながら(質問を)聞きましょう。</p> <p>② パラグアイの日系の人々について復習する。</p> <p>③ 日系の人々が、パラグアイ、日本にも貢献していることを知る。(感想の発表)</p> <p>④ 移住地について知る。 T: パラグアイの人たちは、日系の人たちにどのようなイメージを持っているでしょう。 S: まじめ、すごい、しっかりしている、仕事を頑張る、感謝されている(感想の発表)</p> <p>⑤ 日系一世の思いを知る。 昔の学校と、現在の「日本語学校」の様子を比較する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項(スペイン語の表記)から、想像させる。 ・パラグアイについて基礎知識を持たせる。 ・自分たちと関係のある存在であることを押さえる。 ・パラグアイの中の、日系の存在について押さえ、日系一世の思いに繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆日系の子供たちからのメッセージ ◆JICA横浜 海外移住奨励ポスター ◆すりごま ※原産国: パラグアイ ◆写真 仙道 富士郎 編『遙かなる地球の裏側に夢を馳せた人々—南米パラグアイ在住日系移住者の声』 ◆写真 パラグアイで撮影
<p>展開 (15分)</p>	<p>2 自分の生活と、日系の子供たちの生活を比較する</p> <p>①日系の子供たちの1日の時程表(起床、就寝、食事、遊び、勉強する時間など)を見ながら、自分の生活と比較する。 T: わかったこと、気づいたこと、思ったことをグループの人に話します。</p> <p>(1) グループで、考えを出し合う。 (2) 自分の考えをワークシートに書く。 (3) 発表させ、全体で共有する。</p> <p>②日系の子供たちが、2つの学校(パラグアイの学校、日本語学校)で学んでいることを知る。 T: 勉強が大変だから、日本語の勉強はやめてもいい? スペイン語の勉強はやめてもいい? S: ○日本語学校へ通うことは大事 …日系一世の思いを引き継ぐことであるから、日本語がなくなってしまうから ○パラグアイの学校へ通うことは大事 …パラグアイに住んでいるから、スペイン語を使うから</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで考えを出し合うことによって、自分の考えを持ち、まとめる。 ・他の人の考えからも、学ばせる。 ・どの考えも認める。 ・言葉を学ぶことについても注目させ、考えさせる。 ・どの考えも認める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日系の子供たち「1日の生活」ワークシート ◆ 写真 パラグアイで撮影

<p>まとめ</p>	<p style="text-align: center;">3 日系の子供たちが日本語を学ぶことについて考える</p> <p>① 日系社会が、パラグアイ、日本の両国を大切にしていることを知る。</p> <p>② 日本語を知っていると、どんな良いことがあるか、どんなことができるようになるのか、について考える。</p> <p>S：漫画が読める、映画が観られる、旅行ができる、仕事ができる、話ができる、友達になれる、仲良くなれる</p> <p>③ 授業の感想を書く 日系の子供たちへの質問を書く</p>	<p>・日本語学校（日系の学校）に掲げられている両国の国旗、ラパス日本語学校の校歌から、日系の人々の思いを想像させる。</p> <p>・日本語を知っていると出来るようになる事は様々であるが、友達になれたり、仲良くなれたりする、ということに繋げる。</p> <p>・語学の大切さに繋げる。</p>	<p>◆ 写真 パラグアイで撮影</p> <p>◆ 日系の子供たちが歌う校歌 パラグアイで撮影</p> <p>◆ 「ラパス日本語学校」パンフレット</p>
<p>8. 評価規準に基づく本時の評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の「一日の生活」を元にパラグアイの子供たちについての資料を読み取る。(発表・ワークシート) ・自分の「一日の生活」と比較し、パラグアイの子供たちとの相違点を見出し、自分の考えをまとめ、表現する。(発表・ワークシート) <p>パラグアイに暮らす人々の姿から学び、より良い生活や社会の創造に向けて自他を尊重する。(感想・ワークシート)</p>			
<p>9. 学習方法及び外部との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラグアイの子供たちの「一日の生活アンケート」は、JICA青年海外協力隊隊員や、元隊員、日本語学校（日系の学校）に依頼し、現地の児童にアンケートを取っていただいた。 ・お手紙交流に関して、現地の学校に勤務する、JICA青年海外協力隊元隊員に依頼し、実施させていただいた。 ・授業では、パラグアイの子供たちの「一日の生活」アンケートから気づいたことを、児童が自由に発表し、考えの交流をさせる方法で行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
<p>10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校朝会での報告 ・「英語通信」による実践の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・授業公開 			



【自己評価】

<p>11. 苦労した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界で起きている出来事を「自分事」として捉えさせること。 ・パラグアイや、「日系」について基礎知識を持足せること。 ・外国語活動の授業の中に位置付けること。 ・語学への意欲向上につなげること。
<p>12. 改善点</p>	<p>汎用性のある授業を目指すにも、力のある資料が必要である。写真や動画、自分の肌で感じた経験であると言える。現地に足を運ぶ事が難しい場合、JICAリソースや、人材を活用するのが、大いに有効であると考えている。</p>
<p>13. 成果が出た点</p>	<p>世界で起きている出来事を「自分事」として捉えさせるために、パラグアイとを繋げるべく、お手紙交流を実施した。児童一人一人が、パラグアイの子供たちに向けて手紙を書くことは、授業展開において非常に有効であった。児童は、授業において、活発な意見交流を行っていた。</p> <div data-bbox="411 1288 1380 1624" data-label="Image"> </div> <p>また、パラグアイからのスペイン語の返事を、内容を想像して読む経験を通して英語以外の言語に触れ、日系の人々の歴史や思いを知ることによって、児童の、語学への意欲向上にも繋がったと考えている。</p>
<p>14. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日系の人たちなど、たくさんの人たちが日本と協力していて、はなれていてもつながっていると考えると、とてもすごいなあと感じました。私は外国があまり好きではない時がありましたが、いろいろな発見などが生まれて、きょうみを持つようになりました。 ・日本とパラグアイは、すごい関係が深い。一世の人たちががんばってくれているから、勉強しないとイケないなと思った。

	<p>・日系の人は、日本語をがんばっているから、私も英語をがんばりたい。パラグアイだけでなく、色々な世界と助け合って仲良くしていきたい。</p> <p>・パラグアイと日本は仲良しだから、ぼくは、日系の人達と友達になって、スペイン語を教えてもらいたい。一緒に百人一首で遊びたい。</p> <p>・ぼくは、もっと頑張りたと思いました。なぜなら、世界に友達がいると楽しいと思ったからです。日本に来たら、ぜひサーモン以外のお寿司や、おさしみ、ぎょうぎを食べてね。</p>
<p>15. 授業者による自由記述 (教師海外研修に参加した本学習指導案作成者として、他の教員へのメッセージなど)</p>	<p>児童一人一人を確実に参加させることで、世界で起きている出来事を「自分事」として捉えさせようと考えた。子供同士のお手紙交流をし、「ともだち」となることが非常に有効であり、今後も交流を続けていく。また海外研修において、教師自らが、授業・交流を行う姿勢を見せた。児童が日本で行っている身近なこと、ソーラン節、百人一首、リコーダー、折り紙やことわざ等を、現地で実践することで、「自分でも何かできそうだ」という社会貢献への意欲に繋げることを意図した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>加えて、日系の存在そして日系の人々の思いを知ることは、児童の語学に対する姿勢を見つめさせることに繋がったと考えている。これは、自分が、言葉を教える立場として、児童に考えさせたかったことでもある。</p> <p>今回は、「自分事」として考えさせるための基礎固めを行ったに過ぎない。今後は、パラグアイの子供たちとの交流を広げ、世界で起きている様々な出来事に目を向けさせ、SDGsについても学習を深めていく。</p>

参考資料：

◆ J I C A 横浜 海外移住奨励ポスター

◆ 仙道 富士郎 編

『遙かなる地球の裏側に夢を馳せた人々―南米パラグアイ在住日系移住者の声』

◆ 北中 真人, 藤城 一雄, 細野 昭雄, 伊藤 圭介 著 『パラグアイの発展を支える日本人移住者』

◆ 田島 久歳編著, 武田 和久編著 著 『パラグアイを知るための 50 章』

※単元を構想、授業実践する上での教員または学習者のための参考資料、ウェブサイト、データリソースなどを紹介してください。

※他の教員でも授業実践できるよう、**本時**で使用した資料 (ワークシートパワーポイント、写真、動画などのデータ) を、別添にて必ずご提出ください。